

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「ローソン、健康志向に応じ商品提案 LINEでAIが対応」
- 2) 「イオン、職業体験“カンドゥー”に日本初“YouTuber体験施設”」
- 3) 「スマホで飲料購入、駅の自販機でゲット 3月新サービス」
- 4) 「インドが使い捨てプラスチック容器・食器・ビニール袋の使用を全面禁止」

---

1) 「ローソン、健康志向に応じ商品提案 LINEでAIが対応」

ローソンは21日、AIが顧客の健康志向にあった商品を提案するサービスを始める。AIが顧客の問い合わせに対応するサービス「チャットボット」上で利用者に健康に関する質問をし、顧客の回答に応じてお薦めの商品やクーポンを提案する。チャットボットには約2千万人が登録している。幅広い顧客に商品を提案し販売拡大につなげる。

ローソンは新商品情報を発信するLINEの公式アカウント上で、公式キャラクターの「ローソククルー♪あきこちゃん」に2016年9月から日本マイクロソフトのAIを導入している。キャラクターを通じてAIが利用者と交流しながら商品やクーポンを紹介、1日5万-70万人がメッセージをやり取りする。

「野菜は好きですか?」「ダイエット中ですか?」など6つの質問をAIが投げかける「診断」を21日から始める。回答に応じて「サラダ派」「スムージー派」など5つのタイプに分類した上でお薦め商品を提示する。

このように近年AIを使ったサービスが増えており、チャットでも違和感なく対話できAIのレベルの高さに驚かされる。この他にもAIを使ったダイエットサポートアプリ「CALNA」やイオンの従業員用スマホへのAI導入など、様々な場面で活躍している。今はまだ目新しいサービスでも、ミレニアル世代にとっては当たり前になりつつあるこのサービス。今後の動きに注目したい。

---

2) 「職業体験“カンドゥー”に日本初“YouTuber体験施設”」

イオンモールキッズドリームは、千葉・幕張のショッピングモール「イオンモール幕張新都心内」にある職業体験テーマパーク「カンドゥー」に、YouTuberの仕事を体験できる「カンドゥースタジオ」を3月3日にオープンする。

プロ用機材を備えた2つのスタジオで、映像制作を体験でき、制作した映像は、保護者が設定した公開範囲でYouTubeの「カンドゥーチャンネル」にアップロードできる。

「第2スタジオ」は、セットに座って自分のタイミングで撮影ボタンを押して動画撮影が可能。「おうちでYouTuberになりきって大好きなおもちゃのレビューを披露する」といった体験ができる。撮影後は編集ブースで解説テロップを入れたり、拍手などのエフェクトを入れられる。「第1スタジオ」では、CGを組み合わせた空間で情報を伝えるニュースキャスターや、芸人になりきって人気曲を踊るパフォーマーの仕事などを体験。外から見学する家族は、実際の姿と、リアルタイムにディスプレイに映る姿を同時に観られる。

いまや子供のなりたい職業ランキングにもあがってくるユーチューバーだが、ユーチューバーと言えば無茶な事をして動画再生回数を稼いだりする人も多い。そういった行動に拍車をかけることにはならないだろうかとう心配もあるが、子供がこの体験を通して世界に何を発信するのか楽しみでもある。子供が世界に向けて伝えることは難しくない世界になったことを実感するニュースだ。

---

### 3) 「スマホで飲料購入、駅の自販機でゲット 3月新サービス」

JR東日本の子会社で、飲料の自動販売機を駅で運営しているJR東日本ウォータービジネスは22日、スマートフォンで飲料を買い、あとで自販機で受け取れる新サービスを3月に始めると発表した。スマホで買った商品のデータをSNSで友人や同僚などに送れば、商品をプレゼントすることもできる。

スマホアプリ「アキュアパス」で商品を選んで購入。スマホに表示されたQRコードを、自販機の読み取り機にかざすと商品が出てくるしくみだ。代金は登録したクレジットカードなどで支払う。QRコードをSNSで送れば、送った相手が自販機で商品を受け取ることもできる。

同社は5月までに、この自販機20台を東京駅や品川駅など主要駅に設置する。数年で首都圏中心に数百台に広げる予定だ。「『お疲れさま』や『ありがとう』の言葉とともにサービスを使って」（開発担当者）と売り込む。

自販機以外にも応用できるサービスだと感じた。例えばネットスーパーで購入した際にQRコードを表示し誰にでも送れるようにすれば、家族間で受け取りをお願いできるようになる。駅の弁当屋で導入すれば電車内で注文し、降りてすぐ受け取ることもできるだろう。ぜひいろんな場面に広がってほしいサービスだ。

---

### 4) 「インドが使い捨てプラスチック容器・食器・ビニール袋の使用を全面禁止」

毎年880万トンものプラスチックごみが海洋に流れ込んでおり、そのうち60%がインドから廃棄されたものであると言われている。また、インドではプラスチックごみの焼却による大気汚染が深刻な問題となっており、WHOの調べでは、インドは中国・アメリカを抜いて世界一の大気汚染国であることがわかっている。この影響を重く見た国家グリーン審判所は、インドの首都デリーでプラスチック製の容器・フォーク・ナイフ・ビニール袋などの使用を全面的に禁止する法律を公布した。

2010年に公布された「国家グリーン裁判法」による環境保護や自然保護を円滑に行うため設立された国家グリーン審判所は、2017年の元日からデリーで使い捨てプラスチック製品を全面的に禁止した。これはデリー周辺にある3箇所の廃棄物発電焼却所による大気汚染に対するアクションで、これらの焼却所では違法な焼却技術が使われているとのこと。毎年海洋に流出する880万トンのごみの60%を占めるインドで使い捨てプラスチックが禁止されたことで、世界的にも環境保護の大きなステップになることが期待される。

プラスチックごみの最大の問題は自然環境下で分解されないことや、海洋や河川に化学物質を侵出させてしまうことだ。海洋生物や鳥がエサと間違えて食べてしまうこともあり、プラスチックごみの誤食が原因で年間約10万匹もの海洋生物が死に追いやられていることがわかっている。ノルウェーでは発見されたクジラの死体の胃の中から、30枚ものビニール袋が発見されたことが報じられた。

なお、インドのごみ問題は数年前から指摘されており、オーストラリア人の環境保護主義者でプラスチックごみの汚染問題を訴えているティム・シルバーウッド氏もその1人。シルバーウッド氏は「地球でもっとも美しい山脈に大量のごみが捨てられているのを目撃した。捨てられたごみは長い時間を経て海に流れていく」と話している。シルバーウッド氏はヒマラヤ山脈に大量のプラスチックごみを廃棄するシーンを収めた衝撃的なムービーを公開している。これらのごみは近隣の村から出たものとのことだ。

このムービーを見てみたが、目を疑う光景でヤラセではないのか？と思うほどだった。トラックの荷台いっぱいのプラスチックゴミを山にそのまま捨ててそのゴミを漁りにサルたちが群がるというものだったが、こんなことが普通に行われているということにショックを受けた。これほどの人数を抱える国で便利だけが持ち込まれて、処理能力が伴っていないというのは問題だと思う。また、インドだけの話ではなくこのニュースを見てストローやプラスチック食器をなんでもかんでも付けてしまう日本のコンビニの過剰なサービスにも改めて疑問を感じる。